

**会員事業所景況実態調査平成29年7月～9月分集計結果**  
**調査依頼数:519 回答数85 回答割合:16.4%**

平成29年度2回目分の会員事業所景況実態調査の調査結果について下記のとおり報告いたします。  
 調査結果については、今後の要望・提言活動や経営相談に活用してまいります。  
 ご回答いただいた事業所の皆様、お忙しいなか、ご協力ありがとうございました。

**★DI値とは**

各項目について、増加・好転(仕入単価:下落、従業員:不足)と回答した事業所の割合から  
 減少・悪化(仕入単価:上昇、従業員:過剰)と回答した事業所の割合を減じた数値。  
 ゼロを基準とし、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で  
 景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

**【質問 A】 前年同時期と比較した7月～9月の景況**

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値
全体	売上	27	33	25	85	2.4	▲ 18.1
	採算	17	40	28	85	▲ 12.9	▲ 21.2
	仕入単価	1	50	31	82	▲ 36.6	▲ 34.3
	従業員	21	60	4	85	20.0	14.3
	業況	18	43	24	85	▲ 7.1	▲ 22.9
	資金繰り	7	65	13	85	▲ 7.1	▲ 14.3
建設・建築業	売上	5	4	6	15	▲ 6.7	▲ 20.0
	採算	1	8	6	15	▲ 33.3	▲ 45.0
	仕入単価	0	12	3	15	▲ 20.0	▲ 25.0
	従業員	7	6	2	15	33.3	0.0
	業況	2	8	5	15	▲ 20.0	▲ 50.0
	資金繰り	0	12	3	15	▲ 20.0	▲ 25.0
製造業	売上	9	8	6	23	13.0	▲ 9.5
	採算	7	12	4	23	13.0	▲ 4.8
	仕入単価	1	10	10	21	▲ 42.9	▲ 42.9
	従業員	5	17	1	23	17.4	14.3
	業況	7	12	4	23	13.0	▲ 4.8
	資金繰り	2	16	5	23	▲ 13.0	▲ 14.3
卸・小売業	売上	6	11	6	23	0.0	▲ 34.8
	採算	6	9	8	23	▲ 8.7	▲ 34.8
	仕入単価	0	13	10	23	▲ 43.5	▲ 30.4
	従業員	2	20	1	23	4.3	0.0
	業況	5	11	7	23	▲ 8.7	▲ 39.1
	資金繰り	2	18	3	23	▲ 4.3	▲ 30.4
飲食・サービス業	売上	5	8	5	18	0.0	▲ 8.3
	採算	3	8	7	18	▲ 22.2	▲ 8.7
	仕入単価	0	12	5	17	▲ 29.4	▲ 33.3
	従業員	4	14	0	18	22.2	25.0
	業況	3	8	6	17	▲ 17.6	▲ 4.2
	資金繰り	3	14	1	18	11.1	8.3
その他	売上	2	2	2	6	0.0	▲ 17.6
	採算	0	3	3	6	▲ 50.0	▲ 11.8
	仕入単価	0	3	3	6	▲ 50.0	▲ 42.9
	従業員	3	3	0	6	50.0	35.3
	業況	1	4	2	7	▲ 14.3	▲ 17.6
	資金繰り	0	5	1	6	▲ 16.7	▲ 11.8

**(全体)**

前回から比べると全体的に改善されており、特に売上はプラスに転じている。  
 仕入単価が若干悪化し、従業員が不足している状態である。

**(建設・建築業)**

前回から比べると全体的に改善されており、業況については30ポイントも上がっている。  
 従業員不足が他業種よりも強まっている。

**(製造業)**

前回から比べると全体的に改善されており、特に売上、採算、業況はプラスに転じている。  
 従業員、仕入単価についてはほぼ前回並みの数値となっている。

**(卸・小売業)**

前回から比べると全体的に改善されており、売上については34.8ポイントも上がっている。  
 仕入単価の悪化、従業員が不足している。

**(飲食・サービス業)**

前回から比べると売上、資金繰りが改善されている。  
 採算、業況が10ポイント以上悪化している。

**(その他)**

前回から比べると売上、業況が改善されている。  
 採算が38.2ポイントと大きく悪化している。

【質問 A】 9月と比較した10月～12月の先行き見通しについて

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値
全体	売上	19	35	30	84	▲ 13.1	▲ 24.8
	採算	12	41	31	84	▲ 22.6	▲ 26.2
	仕入単価	2	52	27	81	▲ 30.9	▲ 31.0
	従業員	24	57	3	84	25.0	24.3
	業況	15	42	26	83	▲ 13.3	▲ 25.0
	資金繰り	7	60	17	84	▲ 11.9	▲ 15.2
建設・建築業	売上	6	3	6	15	0.0	▲ 30.0
	採算	2	8	5	15	▲ 20.0	▲ 35.0
	仕入単価	0	13	2	15	▲ 13.3	▲ 25.0
	従業員	7	7	1	15	40.0	15.8
	業況	3	8	4	15	▲ 6.7	▲ 45.0
	資金繰り	0	12	3	15	▲ 20.0	▲ 40.0
製造業	売上	5	10	8	23	▲ 13.0	4.8
	採算	4	9	10	23	▲ 26.1	0.0
	仕入単価	1	10	10	21	▲ 42.9	▲ 40.0
	従業員	6	16	1	23	21.7	47.6
	業況	4	10	9	23	▲ 21.7	0.0
	資金繰り	2	15	6	23	▲ 17.4	0.0
卸・小売業	売上	3	11	8	22	▲ 22.7	▲ 52.2
	採算	3	10	9	22	▲ 27.3	▲ 50.0
	仕入単価	1	13	8	22	▲ 31.8	▲ 22.7
	従業員	3	18	1	22	9.1	9.1
	業況	5	12	5	22	0.0	▲ 43.5
	資金繰り	2	16	4	22	▲ 9.1	▲ 21.7
飲食・サービス業	売上	4	7	7	18	▲ 16.7	▲ 29.2
	採算	3	11	4	18	▲ 5.6	▲ 20.8
	仕入単価	0	13	4	17	▲ 23.5	▲ 33.3
	従業員	6	12	0	18	33.3	20.8
	業況	3	9	5	17	▲ 11.8	▲ 16.7
	資金繰り	3	12	3	18	0.0	▲ 4.2
その他	売上	1	4	1	6	0.0	▲ 11.8
	採算	0	3	3	6	▲ 50.0	▲ 23.5
	仕入単価	0	3	3	6	▲ 50.0	▲ 35.7
	従業員	2	4	0	6	33.3	29.4
	業況	0	3	3	6	▲ 50.0	▲ 17.6
	資金繰り	0	5	1	6	▲ 16.7	▲ 11.8

(全体)

前回より全体的に改善され、特に売上、業況については10ポイント以上の改善がされる見通しである。従業員、仕入単価についてはほぼ前回並みの数値となっている。

(建設・建築業)

前回より全体的に改善される見通しであり、売上、業況については30ポイント以上となっている。従業員については他業種と比べても極端に不足となる見通しである。

(製造業)

前回より全体的に悪化する見通しであり、売上についてはマイナスに転じている。従業員不足ではあるが、前回よりは改善される見通しである。

(卸・小売業)

前回より全体的に大きく改善される見通しである。特に業況は43.5ポイントも上がり、数値がマイナスから0となっている。

(飲食・サービス業)

前回より全体的に改善され、資金繰りは数値がマイナスから0となっている。従業員の不足が強まる見通しである。

(その他)

前回より全体的に悪化しており、特に採算、業況の数値が大幅に悪化する見通しである。しかし、売上については数値がマイナスから0となっている。

【質問 B】 マイナス金利政策について

マイナス金利政策の導入後(2016年2月16日以降)における、金融機関の貸し出し姿勢について(複数回答可能)

項目		建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
積極化	融資を増額(新規融資含む)してもらった	5	2	4	2	1	14
	借換え等の際に金利を引き下げてもらった	3	3	1	1	0	8
	担保や保証人等の負担を軽くしてもらった	0	1	0	0	0	1
消極化	融資を減額された(融資否決を含む)	0	0	0	0	0	0
	借換え等の際の金利が引き上げられた	0	0	0	0	0	0
	担保や保証人等を追加で要求された	0	0	1	0	0	1
	そもそも新たな資金需要がない	0	7	6	7	2	22
	以前と変わらない	8	12	12	10	3	45
合計		16	25	24	20	6	91

【質問 C】 現在、経営上で直面している問題点(複数回答可能)

項目	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
売上が上がらない	5	12	9	3	1	30
利益が上がらない	8	7	14	4	2	35
消費・需要の停滞	1	4	9	6	0	20
仕入価格(原材料費)の上昇	2	7	7	1	2	19
販売単価、受注単価の低下	0	5	2	4	0	11
後継者不足	3	5	2	1	0	11
大型店等の進出等による競争の激化	0	0	1	0	0	1
従業員不足	8	5	4	4	2	23
従業員の技術力不足	4	7	5	4	2	22
事業資金の借入難	0	1	1	0	0	2
商品在庫の過剰	0	0	2	1	0	3
消費者ニーズの変化への対応	1	2	1	3	0	7
合計	32	55	57	31	9	184

その他

- 残業問題(製造業)
- 仕事量の不足(製造業)
- 従業員の接客・対応(卸小売業)
- 作業能率の低下(飲食サービス業)

【質問 D】 行政に対するご意見・ご要望

- 4月～6月の工事量が極端に少なく年間の雇用の安定に支障をきたしています。  
工事発注の平準化をお願いします。(建設・建築業)
- 未婚男女のための常設の出会いの場がない。(製造業)
- 今後は第3次産業の育てが大切だと思われる。特に人を寄せるものとして観光に力を入れないといけない気がする。  
江南区はあまり関係ないかと思うが、2018年の仁川、2022年の北京冬季オリンピックを視野に入れた冬のスキー、スノーボードの観光に力を入れるべき。(製造業)
- 運・ツキなどの講演を希望します。(その他)